

# 「生産性向上支援訓練」利用者の声

## ソマ株式会社 様（相馬市）

### プロフィール

- ◆所在地：相馬市
- ◆従業員数：52名
- ◆事業概要：貴金属宝飾品製造業

### 利用コース情報

- ◆訓練コース名：  
『生産性向上のための課題とラインバランシング』
- ◆訓練時期：令和6年9月（3日間：4時間×3日）
- ◆受講者数：12名



## 事業主の声

株式会社ナガホリグループに属し、貴金属・宝飾品の製造を行っている会社です。

「生産性向上支援訓練」に関しては、弊社社長から情報提供されて、その後、ポリテクセンター福島と連携し、令和3年度から毎年訓練を利用しています。

通常であれば、出張しなければならない訓練を、実施機関の講師が当社に来て頂き、訓練を受講できる事は大変有意義と感じています。

当社の社員は、ものづくりに関する基本的な知識・考え方に「バラツキ」があり、問題が発生した時、「解決手法」の知識不足が、当社（社員）の課題の一つでした。

その課題を解決するために、訓練を通して手法を習得し、分析から改善に至るまで全社員が知識として身に付けて、情報の共有化を図りたいと考えていました。

訓練を利用して、

- ・当社の課題を解決できたこと
  - ・報連相、コミュニケーションの基本を学べたこと
- これらが、大変良かったと感じています。
- また、従前から取組んでいた「業務改善プロジェクト」を進行する上で、
- ・訓練で習得した知識は、大変参考になった
  - ・結果的に生産性向上に繋がった
- と考えております。

更に、生産工程をマニュアル化する際には、訓練で習得した知識・手法を活用した結果、スケジュール管理の精度が向上したことも訓練による大きな成果でした。今後も訓練を繰り返し継続・実践して行く事によって、生産性向上に繋がって行きたいと考えています。



<常務取締役工場長>

大槻 幸市 様（右）

<総務グループ>

大畑 恵美子 様（左）

## 受講者の声

総務グループに属しており、経理業務と受注販売業務を担当しています。

実務の中では、前任者から引き継いだマニュアルを、実態に合わせて簡素化する必要性を感じていました。

4年前までは、製造現場を担当しており、業務上、他部署の担当者とお話する機会は、少ないと感じておりました。

訓練を受講して、ものづくりに関する基本的な知識を習得出来た事、複数回のグループワークで、製造部は勿論、他部署の抱えている問題点を共有出来た事は、非常に有意義でした。

今後は、実務においての業務効率化を図る事で、特に、資料と作成時の「ムダ」は、その都度見直し改善を試みます。これまで身に付けた知識・技術に加え、業務で使用しているシステム、会計ソフトの知識やパソコンスキルを更に向上させて行きたいと考えています。